

会 告 Ⅲ

第2回（平成10年度）認定輸血検査技師制度 認定試験結果について

認定輸血検査技師制度協議会

協議会会長 原 宏

審議会会長 田村 眞

試験委員長 大戸 斉

1988年8月22日～23日に行われた第2回認定輸血検査技師の認定試験の結果について、報告致します。

1 申請者数、受験者数、合格率

1) 総申請者数：194名

受験者数：189名

欠席者数：5名

2) 実技試験結果

平均点：71.8 最高点：100.0

最低点：6.5

3) 筆答試験結果

平均点：70.8 最高点：90.0

最低点：43.4

4) 合格率

最終合格者：116名（受験者数：189名）（合格率61%）

但し、実技試験合格者は135名（受験者数：189名）

筆答試験合格者は103名（受験者数：140名）であった。

なお、一部受験者は、昨年の成績から筆答試験が免除されているので、実技試験の受験者数と筆答試験の受験者数と合格者数は一致しない。

2 試験成績についてのまとめ：

実技試験では、血液型判定と不規則抗体同定における評点は個人差が大きく、実力差が反映されたものと考えられた。なお、血液型判定における禁忌的誤り（検体の判定間違いや検体の取り違え）を犯した5名についてはこれだけで不合格と判定した。血小板抗体に関する検査は良くできていた。

筆答試験は、カリキュラム委員会の課した前課題による評価も加えた結果である。試験結果を見ると輸血検査に関する設問には概ね良く正答していたが、輸血治療を含む臨床的な設問には答えあぐねていた受験者が散見された。しかし、全体的に輸血医学全般に対する理解が向上している。